

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310011012	未来へつなぐアウトリーチ I Outreach activity for the future I	家政学部全教員			1	必修	1前期
科目の概要							
<p>本科目は家政学部の教育目標（各学科のDP1、DP2、DP3に対応）の核となる「建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力」を学ぶ初年次教育科目に位置付けられている。授業では「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」で作成した実施計画案に基づいたボランティア（アウトリーチ）活動に取り組む。この活動を通して①PDCA（P：計画、D：実施、C：チェック、A：修正）サイクルの活用②衣・食・住・消費活動など家政学の視点から旭地区の課題を発見、その課題解決を目指す。ボランティア（アウトリーチ）の活動場所は豊田市旭地区を設定しており、そこで活動を進める諸団体と連携しての活動となる。</p>							
学修内容				到達目標			
① ボランティア（アウトリーチ）の知識と技能を獲得する。 ② pisa型学力を活用して、家政学の視点からボランティア先が抱える課題を抽出する。 ③ 地域活動の中で、四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮する。 ④ PDCAサイクルの運用を経験する。 ⑤ ボランティア活動の成果を整理し、プレゼンテーションする。				① ボランティア（アウトリーチ）の知識と技能を活用して、活動先の方とコミュニケーションをとり活動を行うことができる。 ② pisa型学力を活用して、家政学の視点からボランティア先が抱える課題を解決することができる。 ③ 四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮して活動に従事できる。 ④ PDCAサイクルを運用して、計画、活動、活動内容の評価、活動の課題を修正する取組ができる。 ⑤ 到達目標の①～④の観点からボランティア活動の成果を整理して、プレゼンテーションができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	活動の目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行する意志を持つことができる。					
	働きかけ力	活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーを動かすことができる。					
	実行力	活動の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。					
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、現状の問題を把握したうえで、その問題を解消するための課題を設定することができる。					
	計画力	活動の目的・目標の達成に向かって、課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。					
	創造力	課題解決のための複数の手順（プロセス）を検討し、その中から最善の方策を提案することができる。					
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。					
	傾聴力	対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。					
	柔軟性	自身と異なる意見・考え・提案も受容し、それらを含めた複数の意見・考え・提案を整理して判断することができる。					
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、物事がどのように進行しているか把握することができる。					
	規律性	チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。					
	ストレスコントロール力	負担をストレスとしてではなく自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト： 「自学・共学システム『学びの泉』」 - 『智性・徳性・身体・感性・行動』の5つをバランス良く鍛える - （学泉ノート）（愛知学泉大学発行、学びの泉開発委員会） 参考： 愛知学泉大学 教育スタイル https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/kisoryoku.html							
他科目との関連、資格との関連							
「未来へつなぐアウトリーチ」は「潜在能力の開発」とともに家政学部の教育目標を理解するための初年次教育科目に位置付けられる。							
学修上の助言				受講生とのルール			
この授業では、家政学の教育目標（各学科のDP1、DP2、DP3）を達成する4年間の基盤を作っていく。日ごろから四大精神の実践とともに家政学の視点に立って課題を発見し、解決に必要な知識を獲得・活用・解決すること、物事に挑戦するために前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を活用することを意識してほしい。				<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重する気持ちを常に持つ。 ・グループワーク活動では、失敗を恐れず、積極的に取り組む。 ・グループで決められたルールは、必ず守る。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		30	①	✓	(評価方法) ワークシートの記載内容を評価する。評価の観点は以下の通り。 ① ボランティア（アウトリーチ）活動で、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり課題解決の行動ができています。 ② 四大精神、社会人基礎力の能力要素が学泉ノートの評価レベル3に到達できている。 ③ 地区の課題を家政学の視点から抽出し、課題解決のための知識の獲得ができています。 ④ 常にPDCAサイクルを意識し、実践できている。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓	(評価方法) ボランティア（アウトリーチ）の活動内容、貢献度と活動報告のプレゼンテーションを各30点満点で評価する。評価の観点は以下の通り。 ① ボランティア（アウトリーチ）活動で、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり課題解決の行動ができています。 ② 四大精神、社会人基礎力の能力要素が学泉ノートの評価レベル3に到達できている。 ③ 地区の課題を家政学の視点から抽出し、課題解決のための知識の獲得ができています。 ④ 常にPDCAサイクルを意識し、実践できている。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	学修態度については、家政学部統一のルーブリックで評価する。 【学修目的】活動の目的・目標を自分のものとして、職員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行する意図を持つことができる。 【働きかけ方】活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーを動かすことができる。 【実行力】活動の目的・目標を達成しようという意図を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。 【課題発見力】活動の目的・目標の達成に向かって、現状の問題を把握したうえで、その問題を解消するための課題を設定することができる。 【計画力】活動の目的・目標の達成に向かって、課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。 【判断力】ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、自分の意見・考え・提案をする行動ができています。 【空席力】自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。 【傾聴力】傾聴する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。 【柔軟性】自身と異なる意見・考え・提案も受容し、それらを含めた複数の意見・考え・提案を整理して判断することができる。 【出席率】チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。 【振り返り】自分の活躍・役割・使命を理解し、物事がどのように進んでいるか把握することができる。 【フィードバック力】フィードバックをチャンスとしてではなく自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① ボランティア先の方とコミュニケーションが取れる。 ② 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決にpisa型学力が活用できる。 ③ 四大精神、社会人基礎力が発揮できる。 ④ PDCAサイクルを活動に活かすことができる。 ⑤ 到達目標の①～④の観点からボランティア活動の成果を整理して、プレゼンテーションができる。 ・①から⑤全てが、毎週の授業で実行されている…S ・①から⑤全てが、毎週ではないが実行されている…A	① ボランティア先の方とコミュニケーションが取れる。 ② 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決にpisa型学力が活用できる。 ③ 四大精神、社会人基礎力が発揮できる。 ④ PDCAサイクルを活動に活かすことができる。 ⑤ 到達目標の①～④の観点からボランティア活動の成果を整理して、プレゼンテーションができる。 ・①～⑤3項目以上ができています…B C評価は授業計画「到達レベルC(可)の基準」に従う。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<p><学修目的の明確化と活動準備①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、社会人基礎力、四大精神を確認する。 ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化する。 ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認する。 ・活動に必要な物品の準備する。 	<p><演習></p> <p>①スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題等を修正、整理する。</p> <p>②授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明確に抽出できる。 ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にする。 ・実施計画書の再確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を確認する。 ・自己の課題・達成目標を、ワークシートに記述する。 ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力
2	<p><学修目的の明確化と活動準備②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、社会人基礎力、四大精神を確認する。 ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化する。 ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認する。 ・活動に必要な物品の準備する。 	<p><演習></p> <p>①スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題があれば修正する。</p> <p>②授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が抽出できる。 ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にする。 ・実施計画書の再確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を確認する。 ・自己の課題・達成目標を、ワークシートに記述する。 ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力
3	<p>第3週～第5週連続活動</p> <p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にして活動をする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <p>①現地で実施計画に基づき実習をする。</p> <p>②活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを報告する。</p> <p>③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	<p>第3週～第5週連続活動</p> <p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にして活動をする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <p>①現地で実施計画に基づき実習をする。</p> <p>②活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを報告する。</p> <p>③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	<p>第3週～第5週連続活動</p> <p><ボランティア活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にして活動をする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <p>①現地で実施計画に基づき実習をする。</p> <p>②活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを報告する。</p> <p>③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	<p><ボランティア活動1回目の活動評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画案と活動内容についてチェックし、課題発見、解決案の見直しをする。 ・自己の役割について、問題点を改善する。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の振り返りをする。 ・2回目の活動を具体化する。 	<p><演習></p> <p>①実習の振り返りは実施計画書を基にPDCAの「Check - Action」を実施する。</p> <p>②授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画と活動内容がチェックできる。 ・活動2回目ではpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神を発揮させる具体的な行動目標が発表できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施計画書を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施内容用を整理し、ワークシートに記述する。 	180	主体性 実行力 課題発見力
7	<p>第7週～第9週連続活動</p> <p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <p>①現地で実施計画に基づき実習をする。</p> <p>②活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを報告する。</p> <p>③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力
8	<p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <p>①現地で実施計画に基づき実習をする。</p> <p>②活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを報告する。</p> <p>③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<p><ボランティア活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地で実施計画に基づき実習をする。 ②活動終了後は活動先の方々と、メンバーに目標達成レベルを報告する。 ③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成を口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	<p>主体性 働きかけ力 実行力</p>
10	<p>第10週～第12週連続活動 <ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地で実施計画に基づき実習をする。 ②活動終了後は活動先の方々と、メンバーに目標達成レベルを報告する。 ③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。 	<p>目標達成レベルを口頭で報告できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	<p>課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>
11	<p><ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地で実施計画に基づき実習をする。 ②活動終了後は活動先の方々と、メンバーに目標達成レベルを報告する。 ③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。 	<p>目標達成レベルを口頭で報告できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	<p>課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>
12	<p><ボランティア活動3回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標を明確にする。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する。 ・活動中の疑問、課題の整理、活動の達成度等を整理する。 	<p><実習></p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地で実施計画に基づき実習をする。 ②活動終了後は活動先の方々と、メンバーに目標達成レベルを報告する。 ③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。 	<p>目標達成レベルを口頭で報告できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話することができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	60	<p>課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力</p>
13	<p><ボランティア活動の達成度进行评估></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の計画・実施・課題設定・目標設定・成果とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神について振り返る。 ・次回の活動報告(スピーチ)の原稿を作成する。 	<p><実習></p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地で実施計画に基づき実習をする。 ②活動終了後は活動先の方々とメンバーに目標達成レベルを報告する。 ③授業内で不明な点、疑問点の共有、質問等はGoogleClassroomを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの実施・目標設定・結果・pisa型学力・社会人基礎力・建学の精神について評価できる。 ・スピーチ原稿が作成できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動をPDCAに当てはめ確認し、課題発見と解決方法を整理し、メンバーに発表できるようにワークシートに記述する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の成果を発表内容にまとめ、次回の発表に臨む。 	60	<p>主体性 実行力 課題発見力 創造力</p>
14	<p><成果発表グループ内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員(前期・後期)のグループメンバーは全員参加する。 ・15週の発表代表を選出する。 ・発表代表の原稿・スライド等ブラッシュアップする。 	<p><発表></p> <ol style="list-style-type: none"> ①発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、四大精神、社会人基礎力についてわかりやすく発表する。 ②発表を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はルーブリックでおこない、5段階中、平均3以上とることができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の成果内容を作成して、次回の発表に臨む。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の発表について振り返り、課題を整理しワークシートに記述する。 ・メンバーの成果発表から学んだことをワークシートに記述する。 	60	<p>主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力</p>
15	<p><成果発表 全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のボランティア活動の成果を到達目標①～④の内容を観点に発表する。 ・聴講する学生は質問と発表内容について気づいたことを記述する。 	<p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ代表が発表する。 ・成果発表と聴講をする。 ・発表者に質問をする。 ・発表内容を評価する。 	<p>(発表者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表はpisa型学力・社会人基礎力・建学の精神を分かりやすく伝えることができる。 <p>(聴講者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表より課題を見つけることができる。 ・課題解決法を提案できる。 (全員) ・ワークシートを整理することができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表代表者のスピーチ内容をメンバー全員で、ブラッシュアップして臨む。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～15週のワークシートを整理し、自己の成果と課題を明確にして提出する。 	60	<p>主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力</p>

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力